



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 アジアパシフィックシステム総研 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 内山 毅
(JASDAQ コード番号：4727)
問 合 せ 先 上席執行役員 ゼネラルサポート本部長
井関 潔
電 話 0 3 - 3 9 8 5 - 4 3 1 1

平成 20 年 9 月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 5 日付「平成 19 年 9 月期 決算短信」ならびに平成 20 年 5 月 1 日付「平成 20 年 9 月期中間期及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した、平成 20 年 9 月期通期（連結・個別）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 9 月期 通期業績予想の修正等（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,000	260	260	175
今回修正予想 (B)	7,625	305	320	285
増減額 (B-A)	△375	45	60	110
増減率 (%)	△4.7	17.3	23.1	62.9
(ご参考) 平成 19 年 9 月期通期実績	8,000	381	407	343

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,500	305	305	220
今回修正予想 (B)	7,145	330	350	345
増減額 (B-A)	△355	25	45	125
増減率 (%)	△4.7	8.2	14.8	56.8
(ご参考) 平成 19 年 9 月期通期実績	7,537	367	394	339

(3) 修正理由

当社の属するIT業界におきましては、景気の減速感が強まる中、企業がIT投資を抑制する傾向が顕著になってまいりました。当社グループの一部のお客様においても発注規模の縮小、発注意思決定の延期等が発生するケースが散見され、売上高は当初予想を下回る見込みです。

一方、受注プロジェクトの選別、品質管理に注力するとともに、全社的なコスト抑制を実施した結果、営業利益、経常利益は当初予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、子会社のれん代の減損（約37百万円）、子会社移転費用（約6百万円）等、約52百万円を特別損失として処理する一方で、上記理由による経常利益の増加に加え、訴訟和解金約45百万円を特別利益として計上、繰延税金資産の見直しによる法人税等調整額の減少もあり、連結、個別ともに当初予想を大きく上回る見込みであります。

これらの状況と直近の業績動向等を総合的に勘案し、平成20年9月期の通期（連結・個別）業績予想を上記のように修正いたします。

以上